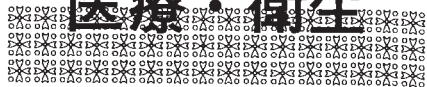
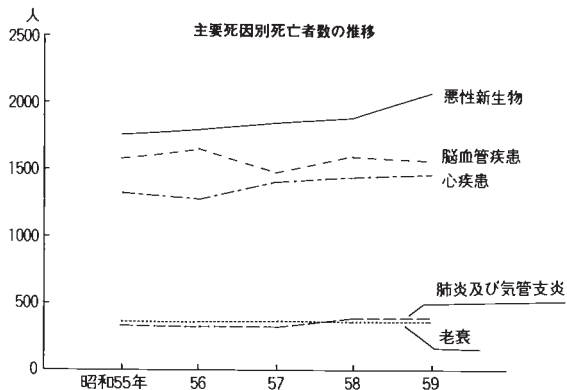


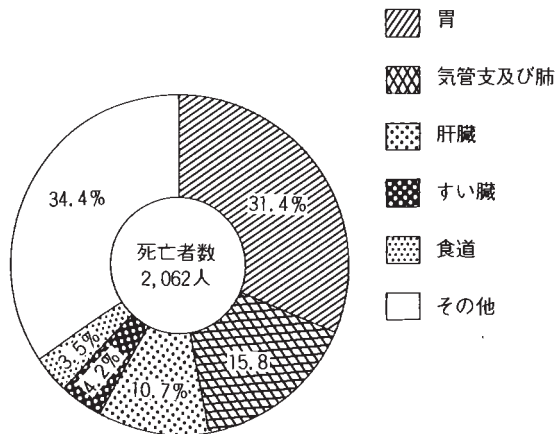
医療・衛生



主要死因別死亡者数の推移



悪性新生物部位別死亡者構成比 (昭和59年)



【医療】

昭和59年末における本県の医療施設数は、病院67、一般診療所754、歯科診療所444となり、前年同期に比べ病院3、一般診療所11、歯科診療所4増加している。

病院の病床数は12,233床で、前年に比べ736床、6.4%の増加となり、人口の増加並びに保険医療の向上に伴い、受診者の増加に対応すべく年々増設が計られている。

また、この病床数を病院種類別にみると法人立病院が全体の45.3%を占め、ついで公立病院32.1%、その他の病院14.2%、国立病院8.4%となっている。

【患者の動向】

昭和59年中の病院の患者数は、在院患者延数361万人、外来患者延数393万人で、前者は前年に比べ5.8%増、後者は6.4%増とそれぞれ増加している。

法定伝染病の患者数は31人で、前年より8人減少となり、しょう紅熱15人、赤痢7人、腸チフス4人等となっている。

届出伝染病の患者数は1,533人で、前年より261人の増加となった。これは主にましんが266人で前年より167人増加したのをはじめ、インフルエンザが1,260人で133人増加したなどが原因である。また、結核患者数は700人で前年より61人増となっているが、食中毒患者数は399人で202人の減少となっている。

【死亡の動向】

昭和59年中の死亡者数は8,073人で、前年より134人増加しており、人口1,000人に対し6.3人の死亡率となっている。

死因別にみると、第1位は悪性新生物（ガン）の2,062人で前年より179人増、第2位は脳血管疾患の1,559人で前年より40人減となっており、この2つで全体の44.9%を占めている。

第3位は心疾患1,464人で前年より24人増となっており、全体の18.1%を占めている。以下肺炎及び気管支炎392人、老衰368人、不慮の事故287人、自殺198人、肝硬変161人、高血圧症150人、全結核34人と続いている。

なお、第1位のガンを部位別でみると、依然として胃ガンが647人と最も多く、ついで気管支および肺ガン325人、肝臓ガン220人、膵臓ガン86人、食道ガン86人と続いている。

【公害】

本県は、人間尊重生活優先の見地から公害の未然防止や対応策等、公害対策行政が積極的に推進されている。公害種類別苦情受理件数をみると、昭和59年度は562件で前年度より38件（6.3%）の減少となっている。

種類別にみると、騒音が全体の22.1%で最も多く、ついで悪臭20.6%、水質汚濁12.8%、大気汚染8.2%、振動4.1%、土壤汚染0.2%等となっている。

病院病床数及び年間患者数

年次別	総 数				国 立 病 院				公 立	
	病院数	病床数	在院患者 延数(年間)	外来患者 延数(年間)	病院数	病床数	在院患者 延数(年間)	外来患者 延数(年間)	病院数	病床数
昭和55年	55	10,112	2,943,192	3,134,587	3	1,030	314,260	135,519	11	2,529
56	58	10,665	3,066,112	3,291,180	3	1,030	312,442	140,241	11	2,505
57	61	11,206	3,263,533	3,532,164	3	1,030	310,704	139,011	16	3,739
58	64	11,497	3,410,683	3,693,865	3	1,030	317,419	141,082	16	3,760
59	67	12,233	3,608,019	3,929,063	3	1,030	316,206	146,413	16	3,926

資料 県医務課

つ づ き

年次別	病 院		法 人 立 病 院				そ の 他 の 病 院			
	在院患者 延数(年間)	外来患者 延数(年間)	病院数	病床数	在院患者 延数(年間)	外来患者 延数(年間)	病院数	病床数	在院患者 延数(年間)	外来患者 延数(年間)
昭和55年	678,081	1,096,111	32	5,923	1,793,148	1,709,132	9	630	157,703	193,825
56	672,875	1,161,893	29	5,641	1,736,979	1,495,309	15	1,489	343,816	493,737
57	929,852	1,546,832	29	5,545	1,770,365	1,549,602	13	892	252,612	296,719
58	970,208	1,622,723	30	5,417	1,766,426	1,500,509	15	1,290	356,630	429,551
59	1,043,989	1,719,355	30	5,539	1,820,372	1,535,241	18	1,738	427,452	528,054

病院・診療所数及び医療関係者数

年次別	病 院 ・ 診 療 所					医 療 ・ 薬 事 従 事 者					
	病 院		一 般 診 療 所		歯 科	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 婦	助 産 婦	看 護 婦 (准看護婦も含む)
	病院数	病床数	診療所数	病床数	診療所						
昭和55年	55	10,112	718	1,382	355	1,401	443	1,155	142	228	3,715
56	58	10,665	717	1,406	393	1,404	481	1,163	156	216	4,091
57	61	11,206	731	1,388	410	1,503	486	1,231	157	215	4,225
58	64	11,497	743	1,409	440	—	—	—	—	—	—
59	67	12,233	754	1,364	444	1,722	573	1,257	172	209	4,875

資料 県医務課 注) 医師数、歯科医師数、薬剤師数については従業地ベースによる。

年 令 別 死 亡 者 数

年 次	総 数	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80才以上
昭和55年	7,623	203	65	114	206	381	745	1,232	2,399	2,278
56	7,709	198	66	96	201	431	742	1,221	2,438	2,316
57	7,590	188	64	103	184	436	719	1,213	2,305	2,378
58	7,939	188	56	110	187	410	812	1,233	2,380	2,563
59	8,073	151	53	96	163	371	856	1,217	2,417	2,749

資料 県医務課

主 要 死 因 別 死 亡 者 数

年 次	総 数	全結核	悪 性 新生物	脳血管 疾 患	心疾患	高血圧症	肺炎及び 気管支炎	肝硬変	老 衰	不慮の 事 故	自 殺	その他
昭和56年	7,709	50	1,799	1,651	1,276	177	332	178	366	291	209	1,380
57	7,590	39	1,850	1,487	1,406	152	335	154	373	277	203	1,314
58	7,939	39	1,883	1,599	1,440	141	395	173	369	325	233	1,342
59	8,073	34	2,062	1,559	1,464	150	392	161	368	287	198	1,398

資料：県医務課

悪性新生物(ガン)部位別死亡者数

年 次	総 数	胃 ガン	肝臓ガン	気管支およ び肺ガン	食道ガン	膵臓ガン	そ の 他
昭和55年	1,765	645	184	207	66	91	572
56	1,799	574	180	245	50	87	663
57	1,850	609	200	253	43	105	640
58	1,883	588	210	291	65	76	653
59	2,062	647	220	325	72	86	712

資料：県医務課

法定伝染病患者数

(単位：人)

年次	届出伝染病								
	合計	赤痢	腸チフス	パラナフス	しょう紅熱	ジフテリア	流行性脳脊髄膜炎	日本脳炎	コレラ
昭和56年	58	15	3	1	39	—	—	—	—
57	35	16	1	6	12	—	—	—	—
58	39	7	7	5	19	—	—	1	—
59	31	7	4	1	15	—	3	—	1

資料：県医務課

届出伝染病、結核、食中毒患者数

(単位：人)

年次	届出伝染病										結核	食中毒
	合計	ましん	百日せき	破傷風	伝染性下痢症	トラホーム	らい	インフルエンザ	つつが虫病	マラリア		
昭和56年	886	559	20	—	—	—	—	307	—	—	654	432
57	2,849	55	45	—	—	—	—	2,749	—	—	686	697
58	1,273	99	46	—	—	—	—	1,127	—	1	639	601
59	1,533	266	7	—	—	—	—	1,260	—	—	700	399

資料：県医務課

公害種類別苦情受理件数

区 分	昭 和 55 年 度		56		57		58		59	
	件 数	構成比	件 数	構成比	件 数	構成比	件 数	構成比	件 数	構成比
計	637	100.0	701	100.0	630	100.0	600	100.0	562	100.0
大気汚染	83	13.0	62	8.9	55	8.7	70	11.7	46	8.2
水質汚濁	94	14.7	97	13.8	77	12.2	93	15.5	72	12.8
騒 音	163	25.6	153	21.8	138	21.9	130	21.7	124	22.1
振 動	24	3.8	17	2.4	16	2.6	15	2.5	23	4.1
悪 臭	140	22.0	136	19.4	142	22.5	117	19.5	116	20.6
土壤汚染	3	0.5	5	0.7	0	0	3	0.5	1	0.2
地盤沈下	—	—	—	—	0	0	1	0.1	—	—
その 他	130	20.4	231	33.0	202	32.1	171	28.5	180	32.0

資料：県公害課

光化学スモッグ予報注意報発令状況

年 度	予 報 発 令 回 数			注 意 報 発 令 回 数		
	北 部	中 部	南 部	北 部	中 部	南 部
昭和56年度	2	1	—	—	—	—
57	1	2	—	—	—	—
58	3	3	3	1	—	—
59	2	2	2	—	—	—

資料：県公害課